

ビンナガ 南大西洋

Albacore, *Thunnus alalunga*



管理・関係機関

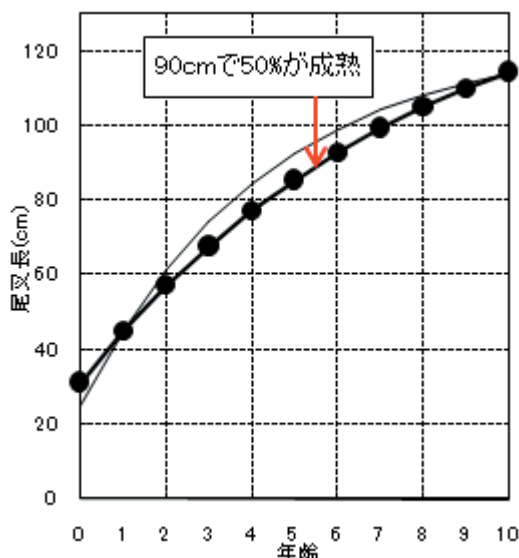
大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)

最近一年間の動き

2008年9月にICCAT調査統計委員会 (SCRS) が行われ、2007年の各国の漁獲量が報告された。本系群の漁獲量が第1位および第2位の台湾および南アフリカの漁獲量はその前の年とあまり変わらなかったが、第3位のナミビアは前年の約5千トンから約1千 (77%減) と大きく減少した。

生物学的特性

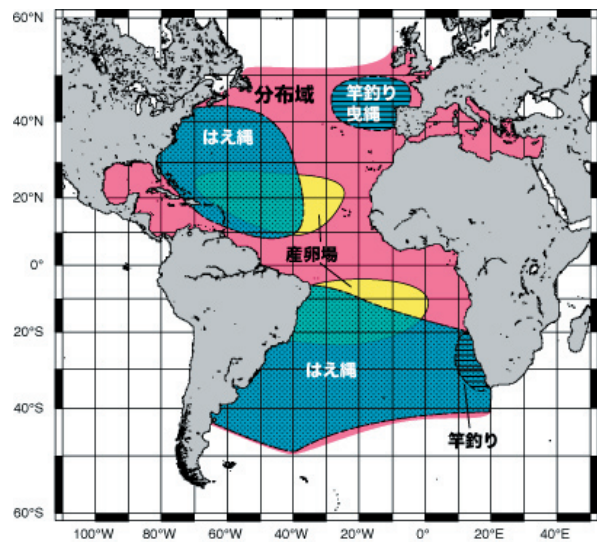
- 寿命：10歳以上
- 成熟開始年齢：5歳頃
- 産卵場：南緯10～25度の南米大陸寄り
- 索餌場：温帯域
- 食性：魚類・甲殻類・頭足類
- 捕食者：まぐろ・かじき類、さめ類、海産哺乳類



南大西洋ビンナガの年齢と尾叉長 (cm) の関係
太線は Lee and Yeh (2007)
細線は Bard and Compean-Jimenz (1980)。

利用・用途

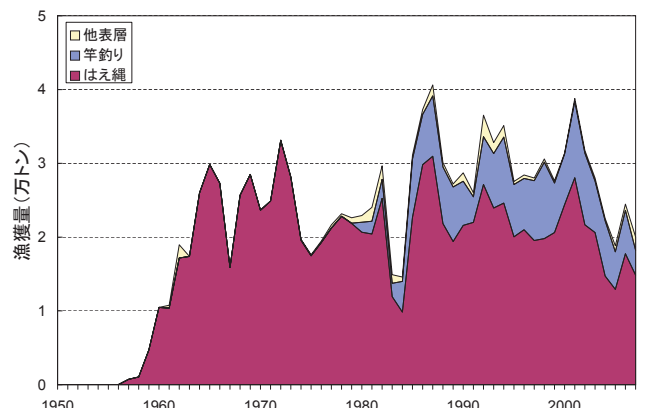
刺身や缶詰原料とされる。



南大西洋のビンナガの分布と主な漁場

漁業の特徴

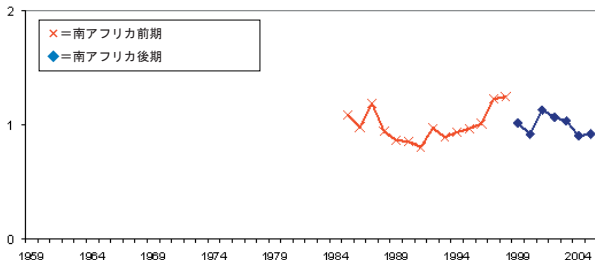
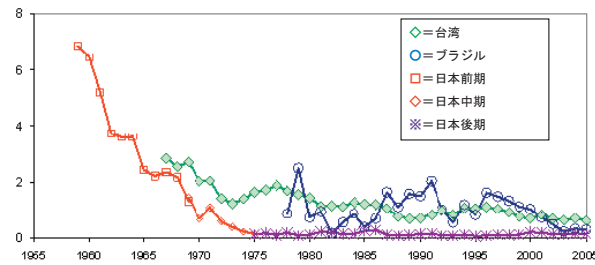
南大西洋のビンナガは、台湾（はえ縄漁業）および南アフリカ（竿釣り漁業）によって主として漁獲されており、ブラジル、ナミビアがこれに次ぐ。特に台湾のはえ縄の割合は高く、1973年以降総漁獲量の6～9割を占めてきた。台湾のはえ縄漁業は伝統的にビンナガを主対象とした操業が行われており、亜熱帯から温帯域の広い海域で周年操業している。



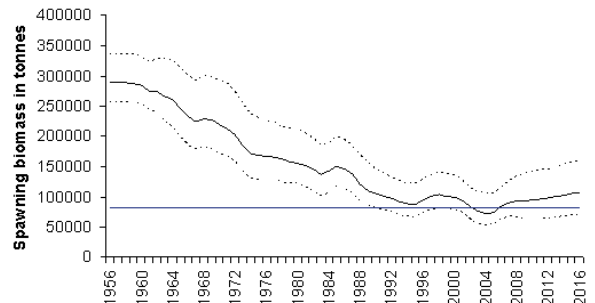
南大西洋ビンナガの漁法別漁獲量

漁業資源の動向

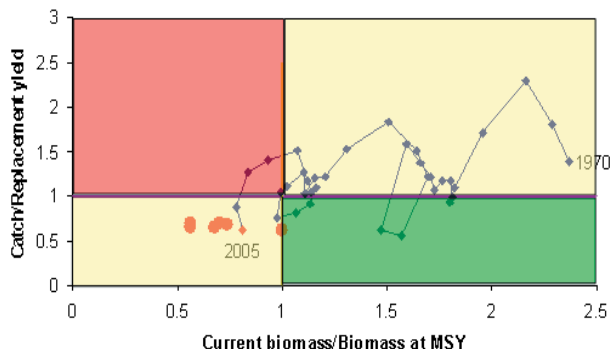
総漁獲量は1960年代～1970年代にはおよそ2.0万～3.5万トンの範囲で推移していたが、1980年代後半～2000年代の初めごろには2.6万～4.0万トンとより高い水準となった。その後総漁獲量はかなり急激に減少し、2005年に過去20年で最低となる1.9万トンとなったが、2006年には約5千トン増加し2.4万トンとなった。近年の総漁獲量の減少ははえ縄による漁獲の減少によるところが大きいですが、これ以外の変動要因として表層漁業の年々の漁獲量の変動が加わっている。



資源評価に用いられた各国漁業の CPUE (ICCAT 2007 SCRS Report より)



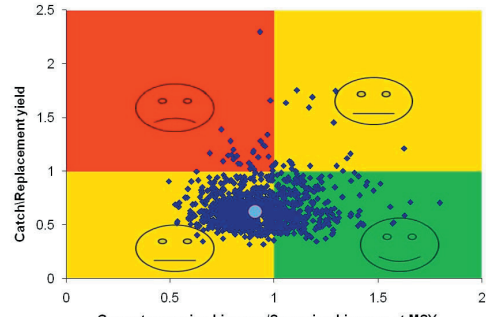
ASPM で推定された親魚資源量 (2005 年まで) および将来予測で得られた親魚資源量 (2006 年以降) の時系列 (ICCAT 2007 SCRS Report より)



1970～2005年の資源状態を表す replacement yeild を基準とした相対漁獲量と MSY を基準とした相対資源量 (B/B_{MSY}) との間の位置関係。(ICCAT 2007 SCRS Report より)

資源状態

2007年に行われた最新の資源評価では、近年の親魚資源量は漁業を行わない状態との比で約25%となっており、現在の資源量はMSYレベルよりも低く、B_{MSY}の約90%であろうと推定された。一方2005年の漁獲係数はMSYレベルの約60%であるとされた。MSYは約3.3万トン、資源量を維持できる漁獲量 (replacement yield) は約2.9万トンと推定された。2006～2007年の漁獲量がreplacement yield (約2.9万トン) 以下であれば、この2～3年は親魚資源量が増加すると見込まれた。



南大西洋ビンナガの2005年における資源状態と推定値のばらつき (ICCAT 2007 SCRS Report より)

管理方策

2007年11月の年次会合では、それまで30,915トンだったTACを減少させ、2008年～2011年までのTACを29,900トンとする決定をした。日本についての漁獲量は南大西洋(北緯5度以南)におけるはえ縄によるメバチ漁獲量の4%以下になるよう努力するというこれまでと同様の規制が課せられた。

資源評価まとめ

- 2005年の資源量はMSYレベルよりも低く、B_{MSY}の約90%。
- 2005年の漁獲係数はMSYレベルよりも低く、F_{MSY}の約60%。

資源管理方策まとめ

- 2008年～2011年のTACは29,900トン。
- 日本は、ビンナガの漁獲量を南大西洋のはえ縄によるメバチ漁獲量の4%以下にするよう努力するという規制が課せられている。

ビンナガ(南大西洋)の資源の現況(要約表)

資源水準	中位
資源動向	減少
世界の漁獲量 (最近5年間)	1.9～2.7万トン 平均値2.3万トン
我が国の漁獲量 (最近5年間)	231～509トン 平均値341トン